

# 千葉からCHIBAへ

～国際空港と高速ネットワークの連携による国際競争力のさらなる強化へ～

### 1. はじめに

首都圏の東側に位置し、三方を海と川に囲まれた千葉県は、太平洋に突き出た半島になっており、沖合を流れる黒潮（暖流）の影響を受け、夏涼しく冬暖かい温暖な気候にあります。

また、九十九里浜や外房から内房にかけての変化に富んだ海岸線、緑あふれる房総丘陵の山並みなど、水と緑の豊かな自然に恵まれ、風光明媚な観光地も数多く存在しています。

産業では、立地や気候、自然環境を活かして農業や水産業が発展する一方で、東京湾臨海部では昭和30年代後半から本格化した埋め立てにより、今や世界最大規模となる京葉臨海コンビナートが形成され、工業や商業も大変盛んになっています。

しかし、本県は「半島」という地形的な条件から、広域的な道路ネットワークの整備が遅れており、地域経済のさらなる発展に向けては、東京方面から県内各地への交通アクセスが大きな課題となっていました。

### 2. 千葉県が持つ宝・ポテンシャルの活用

経済・社会のグローバル化が進展する中で、我が国の持続的な発展のためには、国際競争力のさらなる強化が重要であり、その意味でも、千葉県にある成田国際空港は極めて重要な都市インフラです。

圏央道をはじめ首都圏三環状道路等の高速道路ネットワークにより、日本の空の玄関口である成田国際空港と首都圏の陸・海・空の各拠点が結ば

れることで、国内外とのアクセスの強化と災害に強い物流ネットワークの再構築が図られ、我が国の国際競争力のさらなる強化につながるものと考えています。

特に圏央道は、千葉県にとっても大変重要な道路であり、東京湾アクアラインと一体となって首都圏の骨格を形成し、本県の課題である「半島性」を解消して広域的な交流・連携を促進するものです。圏央道の整備により、都心や羽田空港をはじめとする首都圏各地から成田国際空港や南房総、九十九里方面などの県内のさまざまな地域への交通アクセスが向上し、観光客の誘致や地域産業の振興につながることを期待されています。

また、首都圏北部から成田国際空港への新たなアクセス道路である北千葉道路（国道464号）は、平成29年度に県内区間が開通する外環道から千葉ニュータウンを經由し、成田国際空港につながる延長約47kmの幹線道路であり、現在、国や県で整備が進められています。北千葉道路の整備により、物流機能がさらに強化され、緊急時には東関東自動車道の代替道路としての機能を有し、防災力の向上にもつながります。

そして、東京湾アクアラインは、ETC車を対象とした通行料金の割引（普通車800円）が今年度以降も継続されることから、圏央道の整備とともに観光振興、企業立地の促進、物流の効率化など、今後ますます千葉県をはじめとする首都圏経済の活性化に大きく貢献していくものと思われます。

千葉県知事 **もり た けん さく**  
**森田 健作**



### 3. 2020年オリンピック・パラリンピック に向けた取組み

2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。東京に隣接し、成田国際空港を擁する千葉県においても、世界に向けて千葉の魅力をアピールし、大会の開催に最大限協力することはもちろん、開催効果を千葉県の持続的な成長に結びつけられるよう取り組んでいくことが重要であると考えています。

そこで県では、両大会の成功を支え、開催効果を本県の発展に結びつけるため、「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組の基本方針」を策定しました。基本方針では、県、市町村、民間企業、団体、大学などが連携した「オール千葉」の体制で進める取組の方向性を以下の5つの分野で示しています。

《取組みの方向性》

「キャンプの誘致とスポーツ振興による地域の活力づくり」

「人と物のスムーズな流れの確保」

「魅力ある観光地づくりとおもてなし力の向上」

「大会のサポート」

「戦略的な千葉の魅力発信」

建設行政に関する取組みでは、まず、「人と物のスムーズな流れの確保」として、空港と競技会場や県内外のスムーズなアクセス強化のための東関東自動車道・京葉道路や圏央道・アクアラインを活用したルートの交通円滑化に向けた取組を促進するとともに、県内観光地へのアクセスや空

港周辺道路の整備推進、さらに主要な道路の交通渋滞の改善などを進めていきます。

また、「魅力ある観光地づくりとおもてなし力の向上」として、国内外から訪れる旅行者が本県を安心して旅行できるよう道路の案内標識の英語表記や防災・減災対策などを推進していきます。

そして、こうしたハード整備を進めて、県内のアクセスや利便性を高めるとともに、「戦略的な千葉の魅力発信」として、千葉のさまざまな魅力を日本全国や世界に向けて発信し、千葉の認知度やイメージ向上を図り、県産品の購入や観光客の誘致につなげることで、地域社会・経済の活性化や交流人口の増加を図っていきます。

### 4. おわりに

前回、1964年の東京オリンピックは日本経済復興の大きな原動力となり、今日まで私たちの世代がその恩恵を享受してきました。そして今回は、次世代を担う子どもたちや孫たちのために「光り輝く千葉県」の実現に向けた投資をしていくことが、私たちの世代の使命と言えます。

今後とも、千葉県では、千葉の持つポテンシャルを最大限に活用し、県民のみなさまとのチームスピリットを発揮して、私たちの子どもや孫の世代が「千葉に生まれ、千葉に住み、本当によかった」と心から誇りと自信を持てる「日本一の光り輝く千葉県」の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。